

仙台市企業経営動向調査 (第94回調査結果～概要版～)



令和4年9月
仙台市経済局
仙台商工会議所

仙台市と仙台商工会議所では四半期毎に企業経営動向調査を実施しています。令和4年4～6月期の調査結果は次の通りです。本調査では、経済センサスなどの統計調査結果及び行政記録情報（労働保険情報、商業・登記情報等）により作成された、事業所母集団データベースの「令和2年次フレーム」から、業種や規模別に抽出した本市内の事業所1,000箇所に対して、郵送によるアンケート調査を実施しました。

＜業況判断DIの総括＞

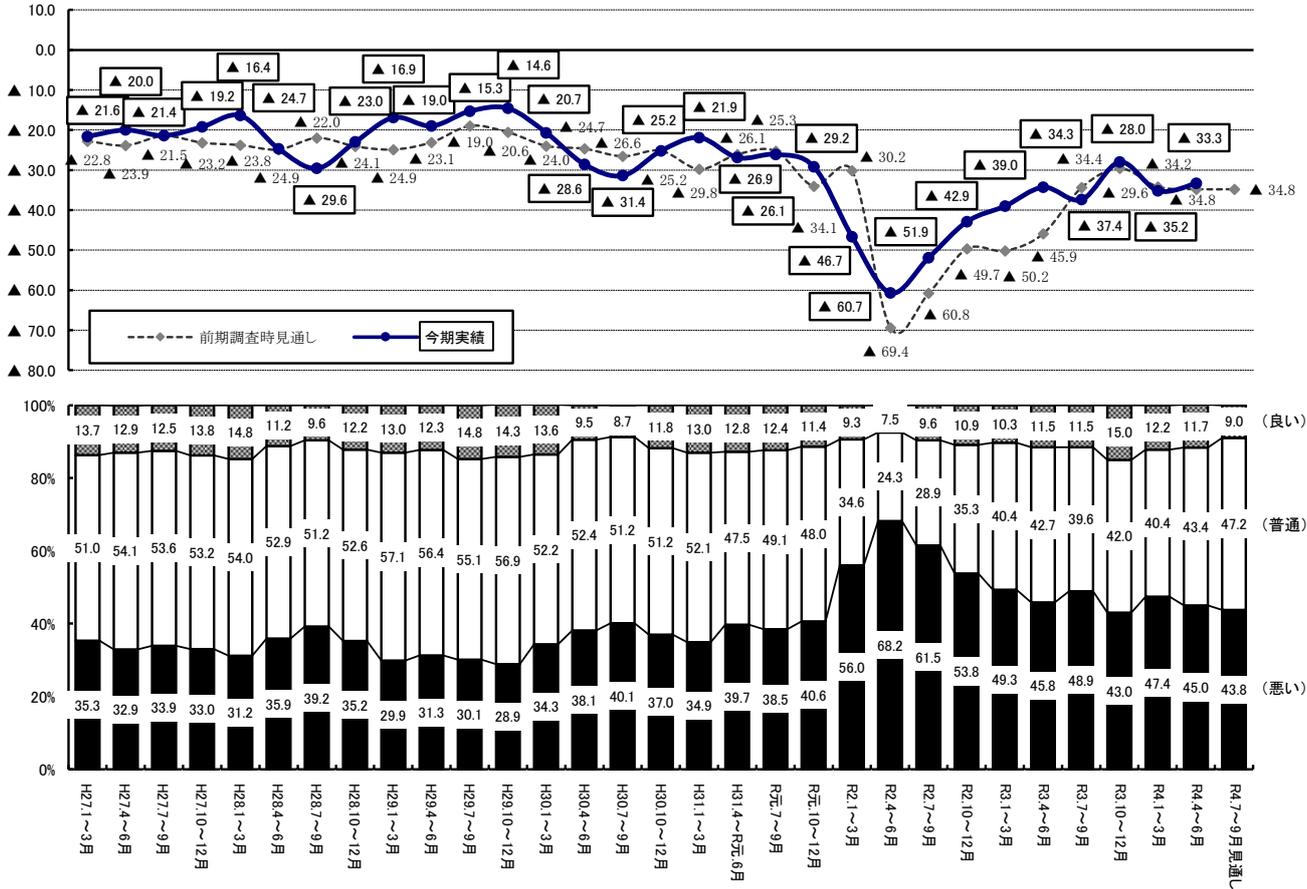
今期の市内事業所の業況判断DIは▲33.3で、前期の▲35.2と比べ、1.9ポイント上昇した。

前回調査時における来期見通しの業況判断DIは▲34.8でほぼ横ばいであったことを踏まえると、予想に反して上昇した。

業種別に見ると、業況判断DIは製造業、建設業、不動産業・物品賃貸業及びサービス業（個人向け）では下降し、これら以外の業種では上昇した。

来期の業況判断DIは、▲34.8（今期比▲1.5）とやや下降する見通しである。業種別に見ると、建設業、運輸業、卸売業及びサービス業（法人向け・ほか）では下降し、小売業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇するものと見込まれる。

業況判断(事業所の景气)DIの推移



＜仙台市企業経営動向調査結果（D I）の総括表＞

調査項目(DI)	今期(4月～6月) ()内は前期比	今期実績 (前期実績との比較)		来期(7月～9月) ()内は今期比	来期見通し (今期実績との比較)	
売上高	▲6.3(+6.5)	上昇した	↗	▲8.2(▲1.9)	下降する	↘
販売数量	▲11.0(+6.5)	上昇した	↗	▲9.4(+1.6)	上昇する	↗
経常利益	▲22.8(▲2.1)	下降した	↘	▲23.5(▲0.7)	ほぼ横ばい	⇔
製(商)品単価	44.6(+9.0)	上昇した	↗	51.2(+6.6)	上昇する	↗
原材料(仕入)価格 *	81.7(+8.6)	上昇した	↗	80.5(▲1.2)	下降する	↘
製(商)品在庫 *	3.8(±0.0)	横ばい	⇔	—	—	—
労働力 *	▲26.6(+3.4)	上昇した	↗	—	—	—
生産・営業用設備 *	▲9.1(▲1.8)	下降した	↘	—	—	—
資金繰り	▲15.8(+3.2)	上昇した	↗	—	—	—
金融機関の対応	8.5(▲1.2)	下降した	↘	—	—	—
正規従業員数	22.5(▲7.2)	下降した	↘	—	—	—
非正規従業員数	12.3(▲2.0)	下降した	↘	—	—	—
生産・営業用設備(予定)	10.4(▲3.3)	下降した	↘	—	—	—
事業所の業況 (業況の良し悪し)	▲33.3(+1.9)	上昇した	↗	▲34.8(▲1.5)	下降する	↘
事業所の業況 (業況の変化)	▲12.1(+5.4)	上昇した	↗	—	—	—

↗ 上昇

⇔ 横ばい・ほぼ横ばい

↘ 下降

※D I = 「上昇」（「増加」、「過剰」、「緩い」、「増員」、「増強」、「良い」、「好転」）と答えた事業所の割合（％）
 —「下降」（「減少」、「不足」、「厳しい」、「減員」、「縮小」、「悪い」、「悪化」）と答えた事業所の割合（％）
 ※表中の「前期」はR4年1～3月、「今期」はR4年4～6月、「来期」はR4年7～9月を表す。
 ※表中の*印を付した項目は、D I 値が小さい方が好況である。

○今期の業況判断D I は、やや上昇

今期の市内事業所の業況判断D I は▲33.3 と、前期調査での見通しは▲34.8 であったことを踏まえると、予想に反して上昇した。売上高D I は▲6.3（前期比+6.5）、販売数量D I は▲11.0（前期比+6.5）、製（商）品単価D I は 44.6（前期比+9.0）などと上昇したことが今期の業況判断につながったものと思われる。

調査項目別に見ると、原材料（仕入）価格D I は 81.7（前期比+8.6）と前期に引き続き上昇した。労働力D I は全業種では▲26.6（前期比+3.4）と上昇となった。業種別の労働力D I は、不動産業・物品賃貸業で▲6.4（前期比+17.4）と上昇した一方、宿泊・飲食サービス業では▲31.2（前期比▲16.0）と下降した。

○先行きは、やや下降する見込み

来期の業況判断D I は、▲34.8 とやや下降する見通しとなっている。

業種別では、建設業、運輸業、卸売業及びサービス業（法人向け・ほか）で下降すると見込まれている。新型コロナウイルス感染症の第7波の急拡大や、原油価格・物価の高騰による影響が懸念されている。

＜業種別業況判断D Iの動向＞

業種	今期実績		来期見通し		業種	今期実績		来期見通し	
製造業	▲52.4 (▲4.8)	↓	▲46.1 (+6.3)	↗	宿泊・飲食 サービス業	▲20.4 (+22.4)	↗	▲19.4 (+1.0)	↗
建設業	▲41.6 (▲12.9)	↓	▲48.0 (▲6.4)	↓	不動産業 ・物品賃貸業	▲22.4 (▲1.9)	↓	▲21.3 (+1.1)	↗
運輸業	▲32.9 (+6.3)	↗	▲45.6 (▲12.7)	↓	サービス業 (個人向け)	▲33.8 (▲1.5)	↓	▲21.0 (+12.8)	↗
卸売業	▲22.1 (+10.8)	↗	▲31.8 (▲9.7)	↓	サービス業 (法人向け・ほか)	▲10.6 (+3.5)	↗	▲24.6 (▲14.0)	↓
小売業	▲40.9 (+5.2)	↗	▲40.6 (+0.3)	⇒	全体	▲33.3 (+1.9)	↗	▲34.8 (▲1.5)	↓

 上昇
  横ばい・ほぼ横ばい
  下降

※D I = 「良い」と答えた事業所の割合(%) - 「悪い」と答えた事業所の割合(%)

※表中の「今期」はR4年4～6月、「来期」はR4年7～9月を表す。

※本調査における業況判断(事業所の業況)D Iとは、設問6-1<今期の事業所の業況(業況の良し悪し)D I>をいう。

※今期実績下段：() 前期比実績比、来期見通し下段：() 今期実績比

業況D Iが上昇した業種

【運輸業】 業況D Iは▲32.9(前期比+6.3)と、2期ぶりに上昇した。一般乗用旅客自動車運送業では3月に発生した地震による特需があった。原油価格の高騰により、来期見通しは▲45.6と、今期に比べ12.7ポイント下降すると見込まれている。

○良いと回答した事業所の理由(一部抜粋)

- ・地震による保険調査のタクシー貸切りで売上が伸びた。(一般旅客自動車運送業)
- ・3～4月の繁忙期需要もコロナ禍以前の水準に戻った感があり、5～6月もその流れに乗っている状況。(一般貨物自動車輸送業)

【卸売業】 業況D Iは▲22.1(前期比+10.8)と、2期ぶりに上昇した。新型コロナウイルス感染症の影響でこれまで保留となっていたイベントの開催や外食等の動きが影響したものと思われる。価格転嫁ができているとの声も聞かれた。来期見通しは▲31.8と、今期に比べ9.7ポイント下降すると見込まれている。

○良いと回答した事業所の理由(一部抜粋)

- ・コロナ対策の緩和による人流の増加のため。(食料・飲料卸売業)
- ・イベントに係る売上増加。価格転嫁が進んだ。(他に分類されないその他の卸売業)

【小売業】 業況D Iは▲40.9(前期比+5.2)と、2期連続で上昇した。今年は3年ぶりに行動制限がないゴールデンウィークであったことや、新型コロナウイルス感染症が下火となったことなどから、観光客をはじめとした客足が回復した。来期見通しは▲40.6と、今期に比べほぼ横ばいになると見込まれている。

○良いと回答した事業所の理由(一部抜粋)

- ・コロナ禍の行動制限がない状態となり、GW観光客の増加と国内・海外の観光客も追い風となったため。(百貨店、スーパー)
- ・コロナの落ち着いたき、観光客などの増加。(他に分類されない飲食料点小売業)

【宿泊・飲食サービス業】 業況D Iは▲20.4(前期比+22.4)と、今期、全業種の中で最も上昇した。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたき、観光需要や客足が回復してきたことが理由として挙げられた。来期見通しは▲19.4と、今期に比べ1.0ポイント上昇すると見込まれている。

○良いと回答した事業所の理由(一部抜粋)

- ・コロナが落ち着いてきている。観光需要が高まってきている。(旅館、ホテル)
- ・休日、お祭りのお客様の増加を感じる。家族連れのお客様がなくなった。(そば・うどん店)

【サービス業（法人向け・ほか）】業況DIは▲10.6（前期比+3.5）と、2期ぶりに上昇した。新型コロナウイルス感染者の減少を受け、受注が増加するなどの動きが見られた。来期見通しは▲24.6と、今期に比べ14.0ポイント下降すると見込まれている。

○良いと回答した事業所の理由（一部抜粋）

- ・臨時警備多数のため。（警備業）
- ・コロナ感染者減少による受注増。（建物サービス業）

業況DIが下降した業種

【製造業】業況DIは▲52.4（前期比▲4.8）と、2期連続で下降した。原材料価格の高騰が続き、価格転嫁も厳しい状況であるとの声が多かった。来期見通しは▲46.1と、今期に比べ6.3ポイント上昇すると見込まれている。

○悪いと回答した事業所の理由（一部抜粋）

- ・売上不足。コロナによる経済活動の低下・原材料費の値上げ。（印刷業）
- ・原材料費高騰に伴う製品価格値上げが追い付いていない。（セメント・同製品製造業）

【建設業】業況DIは▲41.6（前期比▲12.9）と、2期連続で下降した。受注減に加え、原材料・燃料価格の上昇、製品価格の値上げが影響している。来期見通しは▲48.0と、今期に比べ6.4ポイント下降すると見込まれている。

○悪いと回答した事業所の理由（一部抜粋）

- ・建設業全体の仕事量、大型工事が少ない。（土木工事業（舗装工事業を除く））
- ・原材料価格の高騰により、価格競争が厳しくなった。（管工事業（さく井工事業を除く））

【不動産業・物品賃貸業】業況DIは▲22.4（前期比▲1.9）と、2期連続で下降した。3月の地震による修繕費用の発生や、原材料・燃料価格の高騰などが理由に挙げられた。来期見通しは▲21.3と、今期に比べ1.1ポイント上昇すると見込まれている。

○悪いと回答した事業所の理由（一部抜粋）

- ・原材料や燃料等の高騰。（産業用機械器具賃貸業）
- ・地震による修繕があったため。（不動産賃貸業（貸家業、貸間業を除く））

【サービス業（個人向け）】業況DIは▲33.8（前期比▲1.5）と、2期ぶりに下降した。新型コロナウイルス感染症の影響と物価上昇を挙げる声が多かった。来期見通しは▲21.0と、今期に比べ12.8ポイント上昇すると見込まれている。

○悪いと回答した事業所の理由（一部抜粋）

- ・燃料・光熱費の高騰、物品・備品の値上げ。（病院）
- ・コロナの影響で新規顧客獲得が難しい。物価の上昇により、退会するお客様も多い。（フィットネスクラブ）

発行：仙台市経済局 産業政策部 経済企画課

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-6-1 表小路仮庁舎（仙台パークビル）9階
電話：022-214-8275 FAX：022-267-6292 E-mail：kei008010@city.sendai.jp

仙台商工会議所

〒980-8414 仙台市青葉区本町2-16-12
電話：022-265-8127 FAX：022-214-8788 E-mail：keiei-all@sendaicci.or.jp

※これまでの調査結果につきましては、仙台市ホームページからご覧いただけます。

仙台市地域経済動向調査：

<http://www.city.sendai.jp/kezai-chose/kurashi/machi/kezaikoyo/kezai/hokoku.html>

仙台市経済局 Facebook やっています

